

V トマトをつくる

1 トマトづくり

南郷村の夏は、一日の気温の差が大きいので、トマトづくりには、とてもきめています。

トマトづくりは、3月のすえ、つもった雪をとりのぞき、なえを育てる育苗ハウス作りからはじまり、しゅうかくの終わる10月まで続きます。なえは、田や畑に一本一本ていねいにうえられ、水やり、しゅうどくに多くの人手がかかります。

7月になると、しゅうかくがはじまります。農家の人は、朝早くからトマト畑に出て、色あいを見て一つ一つていねいにもぎとり、農業共同組合（農協）のトマトせんか場にはこびます。

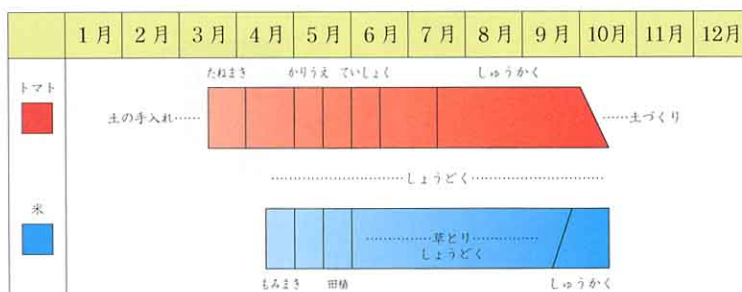
せんか場では、カラーセンサーつきせんか機を使って、すばやく色別し、形のよいものがえられ、いろいろな大きさに分け、段ボールばこにつめられます。

はこにつめられたトマトは、運送会社のトラックで、駒止トンネル、山王トンネルをぬけ、東京や横浜の市場に、次の日の朝着くように送られます。

このようにして作られたトマトは、「南郷トマト」として、全国に知られています。



▲カラーセンサーつきせんか機



◀ トマトづくり・
米づくりこよみ